

平成27年第2回市議会臨時会を開催いたしましたところ、議員の皆様には公私ともに極めて御多忙の中、御出席を賜り厚く御礼を申し上げます。

まず、高校野球100年という記念すべき年に開催された今春の選抜高校野球大会において、敦賀気比高等学校が悲願の優勝を果たし、北陸に初めて紫紺の大優勝旗がもたらされることとなりました。この快挙により、「敦賀」の名が全国津々浦々にとどろくとともに、試合で生まれた数々のドラマは市民の皆様をはじめ多くの方々に夢と感動を与えてくれました。ここに、選手並びに指導に当たられた関係者の皆様の御健闘を心よりたたえるものであります。夏の全国高校野球選手権大会も間近に控えていることから、春夏連覇を目指し、さらに精進されることを強く期待いたします。

さて、先月26日に執行されました市議会議員選挙において、市民の期待と信頼を一身に担われ御当選された皆様に、心から敬意を表しお祝いを申し上げます。

また、これに先立ち行われた県知事選挙及び県議会議員選挙におきましては、西川一誠氏が4度目の御当選、地元県議会議員には、石川与三吉氏、糺谷好晃氏、力野豊氏が御当選されました。心よりお祝いとお喜

びを申し上げます。

西川知事には、人口減少対策等の多くの課題が山積する中、県民の声をしっかりと受け止め、福井県をより良くしていただくために、一層御活躍されることを御祈念申し上げますところであります。また、地元県議会議員の皆様には、郷土敦賀の発展のため、御尽力賜りますようお願い申し上げます。

私もこのたびの市長選挙では、多くの市民の皆様から御支持をいただき、第22代市長に就任させていただくことになりました。まことに身に余る光栄であり、この責任の重大さを痛感するとともに、皆様の御期待に応えることができるよう、自らの持てる全ての力を傾注して市政運営に取り組んでまいります。

さて、本市では原子力発電所の長期運転停止により、地域経済は疲弊し、財政状況は厳しさを増すとともに、雇用状況等が悪化し、人口減少が加速することが憂慮されるところです。

私は、この難局を乗り切り、魅力と活力あふれるまちを取り戻す「敦賀再生」の実現に向け、市政運営に当たっては「3つのビジョン」と「改革」を基本方針として進めてまいります。

まず、ビジョンの1つ目は、『新しい「元気」づくり』です。

行政は市民が主役であります。そのため、市民目線での行政サービスの充実を図るとともに、敦賀の持ったくさんの「宝」を活かした地域経済の活性化などにより、敦賀の「元気」を取り戻します。

2つ目は、『新しい「地域・人」づくり』です。

ボランティア活動の推進、まちづくり活動への支援、心豊かな青少年の育成と学力の向上などにより、各地域の活性化や敦賀の将来を担う人材の育成を目指します。

3つ目は、『新しい「安全・安心」づくり』です。

災害に強いまちづくりの推進、高齢者・障害者福祉の充実強化、安心して子育てできる環境の整備などにより、「住みたくなる敦賀」を目指します。

そして、これらのビジョンを実現するため、既存の概念にとらわれず、大胆かつ徹底的な「行財政改革」を進め、安定した財政基盤を築いてまいります。

なお、今後の事業実施につきましては、幅広い視点から積極的な検討を行い、順次具体化してまいりたいと考えておりますので、議員並びに

市民の皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。

次に、今臨時会に提案いたしました議案は、副市長並びに監査委員等の選任などにつき同意を求める人事案件のほか、退職手当費、道路除雪費をはじめとする一般会計等の補正予算及び地方税法の改正に伴う敦賀市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例等についての専決処分事項の報告であります。

何卒、慎重に御審議をいただき御同意等を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつと提案理由の説明にかえさせていただきます。